

# 令和3年度 事業所向け放課後等デイサービス評価表

ハッピーテラス川越教室

集計日：令和3年12月11日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		スペースは広いとは言えないものの、適切な定員は守っております。 遊びに応じて場所を区切るなど必要に応じて対応します。	利用者の安全面と特性に配慮しながら状況に応じた適切なスペースを確保できるよう努めます。
②職員の配置数は適切であるか	○		制度上必要な人員と、利用者の特性に合わせて必要な人員を配置しています。	制度上必要な人員は必ず配置し、その上で利用者に合わせて適切な人員配置を行います。
③事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	トイレは男女に分かれており、混雑しにくいようになっています。 入口に子ども用の手洗い場があり、小さい児童でも手洗いしやすいかと思われます。	現在対象の方がおりませんが、車いす利用の方については段差があるなど難しい箇所があります。 スロープの設置など検討します。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月に一度、教室全体で会議を開いて課題や目標を確認する機会を設けています。 指導員ができる限り全員参加できる日程を設定しています。	会議の内容が充実するように事前にスタッフで議題や確認事項を募集するようにしていますが、更に充実するよう努めます。
⑤保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的に保護者様にアンケートを実施して、教室の評価を頂いています。また、回収率が上がるように保護者様にお声掛けさせて頂いております。	改善に向けて必要に応じた措置を行います。
⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価アンケートについてホームページで公開しております。	今後もホームページを活用し公開して行きます
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	実施の実績はございません。	社内で検討して参ります。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に教室内で勉強会等を実施しています。 また社内研修もオンラインで実施するなど機会確保に努めています。	今後も定期的な勉強会等は継続して行きます。 社内研修、社外研修も実施、参加の方法を工夫して取り組んでまいります。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		保護者面談を実施して意向も伺いながら作成しています。 日々の様子、課題については日誌に記録し都度共有しています。	今後も、正確なアセスメントのを行い支援計画が作れるようにケース会議、保護者面談を通して作成いたします。
⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		社内のアセスメントツールを必要に応じて使用しています。 WISCなどお持ちの方の場合はデータの共有も頂いております。	今後ともアセスメントツールを使用していきます。

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当を決めて、考案した物を軸に教室内で協議し作成しております。また、プログラムの開発責任者に添削の依頼も行っています。	トレーニング内容の振り返りをしながら、同じ内容でもより良い支援が提供できるように立案して行きます。
⑫活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		週間テーマを設定し、同じトレーニングにならないように作成しています。また、同じテーマでも内容は毎回変更して実施しています。	教室内でも協議し、さらに多様化したトレーニングや活動ができるよう取り組んで参ります。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日、休日、その他利用者の状況に応じて活動内容など工夫しています。	個別支援計画の見直しも含めて、平日、休日ともに課題を調整していきます。
⑭子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	○		利用者様の支援状況に応じて、集団活動だけでなく個別活動も取り入れています。	集団活動を基本としながらもそれだけに捉わられることなく利用者様の現状に合った活動を設定します。
⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日、朝礼で利用者の状況を共有しています。また、その日の支援内容や留意点についても確認しています。	今後とも確認を怠ることなく支援にあたります。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○		終礼時にその日の様子の振り返りをし、利用者様の状況等共有しています。	終礼で共有したことを翌日の朝礼でも繰り返し確認することを継続します。
⑰日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日支援記録をとり、課題が出た場合にケース検討を実施しています	その日不在の指導員にも翌日共有できるよう努めます。
⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月を最長として3ヶ月を目安に支援計画の見直しを実施しています	できる限り早急にどの利用者様にも計画の見直し、更新ができるようにいたします。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		複数実施できるカリキュラムを仕組み化して導入しています	全指導員がガイドラインをより理解できるよう勉強会等検討しています。
⑳障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		課題毎に適任が参加できるよう調整をおこなっています	今後も教室内で協議して、適任者を選出いたします。
㉑学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○		各学校と必要に応じて連携しています。学校見学やケース会議など実施しております。	お互いに利用者様の支援に繋がるように適宜共有、連携を行って参ります。
㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		ケア児の受け入れ要望が現状ない状態です。受け入れるための要件を満たす職員が現状はいませんが、採用をおこなうとともに受け入れについても検討をおこないます。協力医療機関とは定期的に連携をおこなっています。	契約時に医療的ケアも含めて確認します。

⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者様に了承を頂き、開示しております。	個人情報になるので、必ず保護者様の了承を得てから共有を行います。
㉑学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて情報共有を実施しています	個人情報の観点から保護者様の許可を得ることを条件に必要な情報を開示します。
㉒児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		利用者についての情報共有や助言を頂くなど連携して	今後も必要に応じて相談等いたします。
㉓放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		ご時世柄計画して実施することが難しかったです。外出イベントのさなか、突発的な交流が生まれることはあります。	そのような機会が作れるように他の施設と交流を図ります。
㉔(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		放課後連絡協議会(市内の放課後等デイサービスの連絡会)に参加、情報共有、勉強等しています。	協議会で得た知識等を支援にも活かして参ります。
㉕日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お迎え時や電話等で情報共有をおこなっています。また、月に一度短信(活動報告)を発行し情報共有をおこなっています	その場でお答えが難しいようなご質問に対しては、指導員間で検討したのちご回答いたします。
㉖保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		今後検討しています。まずは、以前に開催していた保護者勉強会をおこないます。	保護者勉強会の実施状況を見て引き続き検討します。
㉗運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に時間をいただき説明をおこなっています。	契約時だけでなく疑問に感じた際にお気軽に確認して頂けるよう再度説明する際も丁寧に行なって参ります。
㉘保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった際には面談を設定し助言支援をおこなっています	直接面談することが難しいご家庭でもオンラインなど方法を工夫していきます。
㉙父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		勉強会を開催予定です。今後ニーズに応じて活動の拡大していく予定です。	勉強会の実施の様子を見てより適切な方法や期間を検討します。
㉚子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決の担当者と責任者を設置し、迅速に対応する体制を整えて対応をおこなっています	担当者だけでなくどの指導員にもお伝えしやすいよう対応いたします。
㉛定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月会報を作成して発信をおこなっています	今後も引き続き月に一度程度会報等で情報を発信していきます。
㉜個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報取扱いの研修を実施しガイドラインにそった情報の取扱をおこなっています。個人情報書類については鍵付きキャビネットに入れて保管しています。	今後も継続して、取り扱いには十分に気をつけて行きます。また、個人情報に関する勉強会も引き続き実施していきます。

<p>⑯障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p>	<p>○</p>	<p>言葉だけでなく、利用者に合った方法でコミュニケーションを試みています。 また、保護者様には説明の際などわかりやすい表現を心掛けております。</p>	<p>利用者様や保護者様が意志を発信しやすいような配慮をするとともに、理解しやすい方法や表現で説明や発信をしていきます。</p>
<p>⑰事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか</p>	<p>○</p>	<p>実績はありますが、現在はコロナ禍のため実施できておりません。</p>	<p>情勢を鑑みて検討していきます。</p>
<p>⑱緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか</p>	<p>○</p>	<p>マニュアルを作成して掲示しています。</p>	<p>保護者様にも周知しながら、掲示場所など検討していきます。</p>
<p>⑲非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか</p>	<p>○</p>	<p>年二回の訓練を行うとともに緊急時に必要な備品を入れたバックを必要個数用意しています</p>	<p>今後も年2回の訓練を継続して実施します。</p>
<p>⑳虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p>	<p>○</p>	<p>社内研修だけでなく毎年外部機関と連携して研修をおこなっています。</p>	<p>今後も定期的に研修を実施します。</p>
<p>㉑どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか</p>	<p>○</p>	<p>ケースがあった場合には保護者に合意をいただくとともに、指導員に対して勉強会をおこないどのようなときに必要が判断できる体制をつくっています。 教室での実施実績はございません。</p>	<p>今後とも勉強会を含めて実施をしていき、理解を深めて参ります。</p>
<p>㉒食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>	<p>○</p>	<p>契約時に確認をおこない必要に応じて対応をおこなっています</p>	<p>現在、食べ物の提供、飲食関係は控えています。 児童個人に合わせて適切な対応ができるように、職員間の共有を行います。</p>
<p>㉓ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	<p>○</p>	<p>データファイルにまとめて保管しています。</p>	<p>統計を取るなど活用にも努めて参ります。</p>